

PROFILE

オーケストラ：

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団

Nagoya Univ. of the Arts Philharmonic Orchestra

本学教員および東海地区のプロプレイヤーにより2020年に編成されたオーケストラ。小編成によるアンサンブルをモットーとし、バロックから現代曲まで柔軟に対応。特に小編成を生かした古典作品には、古楽器を加えるなど他に類を見ない新しい試みを取り入れている。また優秀な学生をレジデントプレイヤーとして参加させるなど、教育面にも力を注いでいる。



指揮：竹本 泰蔵

1977年に開催されたカラヤン・コンクール・ジャパンで、ベルリン・フィルを指揮し、第2位に入賞。カラヤン氏に招かれて、ベルリンを中心に研鑽を積む。帰国後は全国の主要オーケストラに客演し、クラシック・コンサートはもとより、オペラ、バレエ、ミュージカルなど第一線で活躍中。特に、映画音楽分野での活躍はめざましく、生オーケストラ演奏と映像をシンクロさせた「ファンタジア シネマ・ライヴ」公演(1991年)や、マイケル・ナイマン氏との「ピアノ・レッスン」組曲日本初演、ミッシェル・ルグラン氏との「生誕80年記念ジャパントゥアー」での共演、デヴィット・ヘルフゴット氏とのラフマニノフ作曲「ピアノ協奏曲第3番」共演など、歴史的なコンサートにも名を連ねている。映画音楽のCDレコーディングにも積極的に参加。オリジナル・スコアを使用したキングレコードの企画「シンフォニック・フィルム・スペクタキュラー」シリーズ等、その録音数はすでに100曲を超えている。また映画で使われたサウンドを出来るだけ忠実に復元したオーケストラ楽譜を制作、数多くの名作映画を積極的にコンサートで取り上げている。さらに、自身の企画・構成による“映像付コンサート・シリーズ”を各地で展開。「ローマの休日」「カサブランカ」など往年の名画はもちろん、「トムとジェリー」やディズニー映画「ファンタジア」などのアニメーション映画も取り上げ、全国各地で好評を博している。



テノール：安野 風斗

福井県出身。名古屋芸術大学芸術学部芸術学科音楽領域声楽コース4年在籍。名古屋芸術大学第45回オペラ公演「コジファン・トッテ」フェランド役で出演。今年4月母校の第33回定期演奏会にゲスト出演。第18回東海音楽フェスティバル第3位。第72回福井県音楽コンクール声楽部門(大学一般部門)文化協議会賞受賞。声楽を松濱未来氏、山田正丈氏に師事。



サクソフォン：上村 安美奈

岐阜県出身。名古屋芸術大学音楽総合コース3年在学中。学内選抜により同大学主催「室内楽の夕べ」に出演。第25回万里の長城杯国際音楽コンクール大学の部第3位。これまでにサクソスを富岡祐子、遠藤宏幸、西尾貴浩の各氏に、室内楽を遠藤宏幸氏に、ジャズサクソスを椿田薫氏に師事。



ピアノ：小柳 さら

愛知県出身。5歳よりピアノを始める。第39回JPTAピアノ・オーディションD部門全国大会優良賞。第12回岐阜国際音楽コンクール大学の部第1位、並びに優秀賞、審査員特別賞。パリ・エコールノルマル音楽院ディプロマを審査員満場一致、felicitation(審査員賞賛)を受賞し首席で取得。第32回日本クラシック音楽コンクール大学の部第5位。大学内のオーディションを経て定期演奏会に出演。2022、2023年度山田貞夫音楽財団奨学生。これまでに、吉岡千恵、隈本浩明、東誠三、尾関佳奈、中沖玲子、山田敏裕の各氏に師事。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、現在、名古屋芸術大学プロフェッショナルアーティストコース3年次在学中。